

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-201187

(43)公開日 平成5年(1993)8月10日

(51)Int.Cl.⁵

B 4 2 F 5/04

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数5(全 7 頁)

(21)出願番号 特願平4-10273

(22)出願日 平成4年(1992)1月23日

(71)出願人 000001351

コクヨ株式会社

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

(72)発明者 松井 良一

奈良県香芝市上中95の1

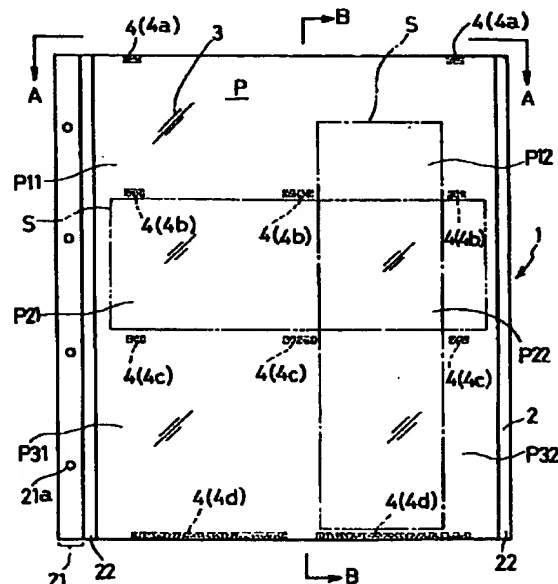
(74)代理人 弁理士 長田 正 (外3名)

(54)【発明の名称】 アルバム用台紙

(57)【要約】

【目的】 パノラマ判の写真を縦横から収納できるようにすると共に、その他の各種サイズの写真を収納可能とする。。

【構成】 台版2の表裏に透明シート3が貼着され写真印画紙S挟持用のポケット部Pが形成されたアルバム台紙1において、上記透明シート3は分割されない一枚ものとされ、台版2と透明シート3とは縦方向に互いに対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部4において互いに貼着され、この貼着部4間の縦方向および横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙Sが通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部4間にポケット部Pが形成されている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 台版に透明シートが貼着され写真印画紙保持用のポケット部が形成されたアルバム用台紙において、上記透明シートは分割されることなく上記台版に設けられ、台版と透明シートとは縦方向に互いに対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の縦方向および横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙の短辺が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されていることを特徴とするアルバム用台紙。

【請求項2】 貼着部間の横方向の距離は、いずれもし判およびパノラマ判の短辺が通過する長さであって、かつ、同縦方向の距離は、少なくともその一つがキャビネ判の短辺が通過する長さで、他はし判およびパノラマ判の短辺が通過する長さに設定したことを特徴とする請求項1記載のアルバム用台紙。

【請求項3】 上記台版の貼着部には切り抜かれた貼着孔が形成され、台版の表裏に配置された透明シートが上記貼着孔を介して互いに溶着によって接合していることを特徴とする請求項1または2記載のアルバム用台紙。

【請求項4】 最下段の貼着部は少なくとも上部の貼着部間の間隙の位置に設けられていることを特徴とする請求項1、2または3記載のアルバム用台紙。

【請求項5】 透明シートとして静電吸着フィルムを使用することを特徴とする請求項1、2、3または4記載のアルバム用台紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、写真のアルバム用台紙に関するものである。

【0002】

【従来の技術】写真アルバムの台版としては、古くは通常のボール紙が使用され、それに写真がただ単に糊付けされるか、あるいはコーナ部材で係止され、その複数枚が綴られてアルバムとして保存されることが行われていた。

【0003】ところで、上記のようにアルバムを調製するには手間と時間がかかることから、予め台版の表裏に写真を収納するためのポケットが形成されるように透明シートを貼着したものが台紙として使用されるようになって久しい。

【0004】このように透明シートを利用することによって、写真の整理収納をより簡便迅速に行うことができたようになったが、上記ポケットの大きさは一定とされることが多かったため、写真のサイズによっては収納不能であったり、大きすぎたりして不便な面もあった。特に最近、パノラマ判と通称される一辺の長さが他辺の長さよりもかなり長大な横長または縦長の写真が出回るようになったことから、このようなものにも対応可能なものが要望されるに至っている。

2

【0005】そこで、多くの写真のサイズに合わせてフレキシブルに対応することができる透明シート貼着方式のアルバム用台紙が開発されるようになり、例えば、図6に示すようなものがすでに市販されている。このアルバム用台紙1は、台版2に上中下三枚の透明シート3が、点描で示す左縁部、右下隅部および中央下部に形成された貼着部4で接合されたものである。このようにして台版2の表面に形成された上中下三段のポケット部Pの縦方向の幅はそれぞれ異なった長さに設定されている。そして、上下の透明シートの当接部分5は、下の透明シート3の上縁部が上の透明シート3の下縁部に若干重なるように二重にされている。

【0006】従って、上記各段の透明シート3の右上縁部をめくるようにして通常の写真を二枚を並置することが可能であるし、いわゆるパノラマ判の写真を横長に収納することもできる。

【0007】更に、パノラマ判の写真（印画紙S）を、最上段のポケット部Pから差し込めば、上記印画紙Sはポケット部Pの下隅部の貼着部4と中央下部の貼着部4との間に形成された隙間部6を通過して三段の透明シート3を貫通した状態となり、縦方向にも収納することができる。この場合、上記のように下の透明シート3の上縁部が上の透明シート3の下縁部に若干重なるようになっているため、この当接部分5で印画紙S下部先端が下方の透明シート3の上辺に当止することはなく、スムーズに押し込むことができる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記図6に例示する従来のアルバム用台紙1にあっては、台版2に上中下三段の透明シート3を貼着しなければならないため、まず製造工程が複雑となり、生産コストの面から不利である。また、上下の透明シート3の当接部分5はシートが重なり合っているため、その部分の光の透過が損なわれ、パノラマ判の印画紙Sを縦にポケット部Pに挿入した場合、透明シート3の重合部分が印画紙S上に色調の変化として帯状に表われ、はなはだ見苦しい状態になる。更に、透明シート3の右上隅部は、まったく台版2に接合されていないため、同図に例示したように、取り扱いの過程でめくれた状態になることも多かった。

【0009】本発明のアルバム用台紙は、上記のような問題点を解決するためになされたものであり、パノラマ判を含む通常商業ベースで多く用いられる各種サイズの印画紙に対応することができ、また、パノラマ判のものについては縦横いずれの方向にも収納することができ、更に透明シートの重ね合わせ部分が存在しない台紙を提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1に係るアルバム用台紙は、台版に透明シートが貼着され写真印

画紙保持用のポケット部が形成されたアルバム用台紙において、上記透明シートは分割されることなく上記台版に設けられ、台版と透明シートとは縦方向に互いに対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の縦方向および横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙の短辺が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されていることを特徴とするものである。

【0011】本発明の請求項2に係るアルバム用台紙は、請求項1記載のアルバム用台紙において、貼着部間の横方向の距離は、いずれもL判およびパノラマ判の短辺が通過する長さであって、かつ、同縦方向の距離は、少なくともその一つがキャビネ判の短辺が通過する長さで、他はL判およびパノラマ判の短辺が通過する長さに設定したことを特徴とするものである。

【0012】本発明の請求項3に係るアルバム用台紙は、請求項1または2記載のアルバム用台紙において、上記台版の貼着部には切り抜かれた貼着孔が形成され、台版の表裏に配置された透明シートが上記貼着孔を介して互いに溶着によって接合していることを特徴とするものである。

【0013】本発明の請求項4に係るアルバム用台紙は、請求項1、2または3記載のアルバム用台紙において、最下端の貼着部は少なくとも上部の貼着部間の間隙の位置に設けられていることを特徴とするものである。

【0014】本発明の請求項5に係るアルバム用台紙は、請求項1、2、3または4記載のアルバム用台紙において、透明シートとして静電吸着フィルムを使用することを特徴とするものである。

【0015】

【作用】上記請求項1記載のアルバム用台紙によれば、台版に貼付された透明シートは分割されない一枚ものであるため、台版面で重なり合う部分は存在せず、結果として上記重なり部分に起因する色調の変化は起こらない。

【0016】また、写真印画紙の収納時に台版と透明シートとは縦方向に互いに対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙の短辺が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されているため、通常の商業ベースで取り扱われている各種サイズの印画紙を収納することができ、特にパノラマ判の印画紙については、縦横いずれの方向にも収納が可能である。

【0017】上記請求項2記載のアルバム用台紙によれば、貼着部間の横方向の距離は、いずれもL判およびパノラマ判の短辺が通過する長さであって、かつ、同縦方向の距離は、少なくともその一つがキャビネ判の短辺が通過する長さで、他はL判およびパノラマ判の短辺が通過する長さに設定されているため、アルバム用台紙は現

在一般的に市販されているあらゆる種類のプリントサイズの印画紙を対象として収納可能である。

【0018】上記請求項3記載のアルバム用台紙によれば、台版の貼着部には切り抜かれた貼着孔が形成され、台版の表裏に配置された透明シートが上記貼着孔を介して互いに熱融着によって接合しているため、透明シートを台版に貼設するための接着剤の塗布が不要であり、その分製造工程の簡素化を実現させることができる。

【0019】上記請求項4記載のアルバム用台紙によれば、最下端の貼着部は上部の貼着部間の間隙の位置に設けられているため、この最下端の貼着部から写真が抜け落ちるのを防止する役目を果たし、縦に収納された印画紙が脱落することはない。

【0020】上記請求項5記載のアルバム用台紙によれば、透明シートとして静電吸着フィルムが使用されているため、台版と透明シートとの間に挟持された印画紙は静電的に透明シートに吸着され、収納位置の移動を防ぐことができる。

【0021】

【実施例】

(実施例1) 図1は本発明に係るアルバム用台紙の一例を示す平面図であり、図2は図1のA-A線視の側面図、図3は図1のB-B線視の断面図である。これらの図に示すように、アルバム用台紙1は、台版2とこの台版2の表裏に貼着された透明シート3とから構成されている。

【0022】透明シート3の横方向の幅は、台版2のそれより若干短めとされ、透明シート3を台版2に貼着したときには台版2の左右に透明シート3で覆われない部分を縦長に形成させている。この部分の左側は綴代部21とメモ欄22として設定され、左側はメモ欄22とされている。綴代部21には所定間隔で縦方向に複数の綴じ孔21aが穿孔されている。本実施例の場合は、綴代部21は台版2の左縁部が利用されているが、別途綴代部のみを製作し、この綴代部と台版2とを接続テープで接合するようにしてもよい。

【0023】台版2の表裏の所定箇所には、横方向に破線状に複数行の貼着部4が形成されている。この貼着部4の寸法および設定箇所は重要である。なぜなら、この貼着部4の配置は、印画紙のサイズに対応することができる自由度に影響を与えるからである。

【0024】ところで、現在商業ベースで一般的に取り扱われている写真の印画紙のサイズ(プリント寸法)は、

E判	縦	82.5mm×横	117.0mm
L判	縦	89.0mm×横	127.0mm
キャビネ判	縦	127.0mm×横	178.0mm
パノラマ判	縦	89.0mm×横	254.0mm

の四種類である。

【0025】そこで、本実施例においては、これらのい

5

ずれにも対応することができるように、台版2としては、透明シート3が貼付される有効寸法が縦323mm×横270mmのものを使用している。そして、上部より第一行目の貼着部4（第一行貼着部4a）は、上縁部左右二個所に縦方向の幅約3mm、長さ約9mmで形成されている。

【0026】第二行貼着部4bは、第一行貼着部4aより少なくともL判の縦の長さ、すなわち89.0mm以上離れて設けられている。この第二行貼着部4bは左部、中央部および右部の合計三個所に形成させられ、左

【0027】第三行貼着部4cについても、第二行貼着部4bより少なくともL判の縦の長さだけ離れて設けられており、その配置および寸法は第二行貼着部4bと全く同じである。そして、上記貼着部4の各列は同じ垂直線上に配置されており、左右の貼着部4と中央部の貼着部4との間は、少なくともパノラマ判の縦の長さ以上に設定されている。

【0028】最下部の第四行貼着部4dは、それより上部の貼着部4の列間に相当する位置に横長に設けられている。従って、第四行貼着部4dのほぼ中央部には切れ目があるが、特に切れ目を設ける必要はなく、透明シート3の横方向全幅に亘って設けてもよい。

【0029】以上のように設定された貼着部4に接着剤が塗布され、その上から透明シート3が重ねられて台版2と透明シート3との間にポケット部Pが形成されている。透明シート3としては、あらゆる合成樹脂製のシートが適用可能であるが、特にPVC（ポリビニルクロライド）、PP（ポリプロピレン）などが好適に使用される。そして、これらの透明シートに静電処理が施された公知の静電吸着シートも好適に使用される。また、接着剤については特に限定はなく、透明シート3として使用される合成樹脂に相性のよいものが適宜選択されて採用される。

【0030】上記ポケット部Pは、第一行第一列目のポケット部P11から第三行第二列目のポケット部P32まで合計六つが形成されており、これらポケット部Pの左右端部は開口が形成され、また上部にも開口が形成されているため、アルバム用台紙1の上部および左右から印画紙を出入させることができる。

【0031】そして、特にパノラマ判の印画紙Sの場合は、縦にも横にも収納することができる。図1にはパノラマ判の印画紙Sの収納の例を画いており、一点鎖線で示した印画紙Sは、縦方向にポケット部P12、ポケット部P22およびポケット部P32を貫通した状態で収納されている。また、二点鎖線で示した印画紙Sは、横方向にポケット部P21、ポケット部P22を貫通した状態で収納されている。その他、ポケット部P11乃至

6

ポケット部P22についてはE判およびL判の印画紙がよこながの状態では二枚を並行させて収納可能であり、ポケット部P31およびポケット部P32については、キャビネ判の印画紙を横長にして、あるいはE判、L判の印画紙を縦長にして収納可能である。

【0032】（実施例2）図4は本発明に係るアルバム用台紙の他の例を示す平面図である。この図に示すように、この実施例の場合は、台紙用原紙2の有効寸法は横方向の長さが270mm、縦方向の長さが実施例1のものよりも狭い約268mmとされ、貼着部4は縦方向に三列とされている。各貼着部4の配置およびサイズは実施例1と同じとされている。従って、ポケット部Pは第一行目のポケット部P11、ポケット部P12および第二行目のポケット部P21、ポケット部P22の合計四個が形成している。縦方向の貼着部4間の距離は、上段、下段共にキャビネ判が横に入る長さとしてとされているため、キャビネ版のものを横に、E判、L判およびパノラマ判のもののいずれをも縦横に収納することができる。

【0033】（実施例3）図5は本発明のアルバム用台紙の更に他の例を示す平面図である。この図に示すように、この実施例の場合には、台版2そのものの貼着部4に対応した位置に貼着孔2a（貼着部4が台版2の上縁部および下縁部にあるときはその部分に設けられた台版2の切欠き部を含む）が穿孔されている。そして、台版2を挟んで表裏一對の透明シート3で台版2が挟持され、溶着の手法によって、表裏の透明シート3が上記貼着孔2a部分で互いに溶着され、アルバム用台紙1が形成されている。このような溶着手法によれば、面倒な台版2上への接着剤の塗布を行う必要はなく、また、透明シート同士の溶着による接合効果は強力であるため、透明シート3が台版2から剥離するようなことはなく、更に、自動的に大量にアルバム用台紙1を製造するのに適している。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように本発明のアルバム用台紙は、台版の表裏に貼付された透明シートが上記台版とはほぼ同じ大きさに設定されているため、台版の表面で重なり合う部分は存在せず、上記重なり部分に起因する色調の変化は起こらないからパノラマ判のような横長の写真でも正確な色調が伝わり、写真の風合いを損なわない。

【0035】また、縦方向および横方向の貼着部間に複数のポケット部が形成され、このポケット部への写真の出入は上方および左右から可能とされているため、綴られたアルバム用台紙を見開いた場合、左右のどちらの頁でも利き腕で写真を出し入れすることができる。

【0036】また、貼着部間の距離は適切に設定されているため、通常の商業ベースで取り扱われている各種サイズの印画紙を収納できると共に、特にパノラマ判の印画紙については、縦横いずれの方向にも収納

が可能であり、従来になく写真配置のレイアウトを行うことができる。

【0037】また、台版に切り抜かれた貼着孔を形成し、台版の表裏に配置された透明シートを上記貼着孔を介して互いに溶着によって接合するようにすれば、透明シートを台版に貼着するための接着剤の塗布が不要であり、その分製造工程の簡素化を実現させることができる。

【0038】さらに、透明シートとして静電吸着フィルムを使用すれば、台版と透明シートとの間に挟持された印画紙は静電的に透明シートに吸着され、収納位置の移動を効果的に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のアルバム用台紙の一例を示す平面図である。

【図2】図1のA-A線視図である。

【図3】図1のB-B線断面図である。

【図4】本発明のアルバム用台紙の他の例を示す平面図である。

【図5】本発明のアルバム用台紙の更に他の例を示す平

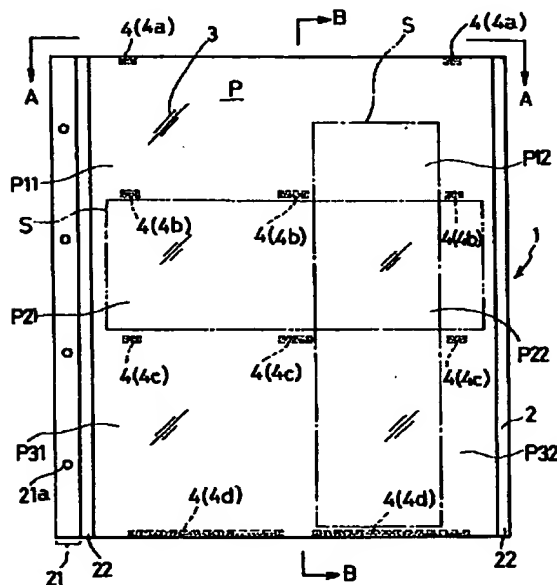
面図である。

【図6】従来のアルバム用台紙を例示する平面図である。

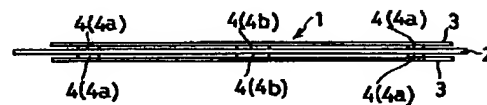
【符号の説明】

- 1 アルバム用台紙
- 2 台版
- 2a 貼着孔
- 21 綴代部
- 22 メモ欄
- 3 透明シート
- 4 貼着部
- 4a 第一行貼着部
- 4b 第二行貼着部
- 4c 第三行貼着部
- 4d 第四行貼着部
- 5 当接部分
- 6 隙間部
- P、P11～P32 ポケット部
- S 印画紙

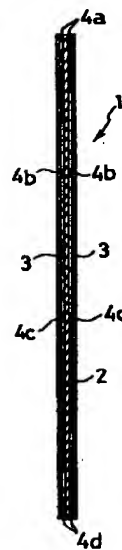
【図1】



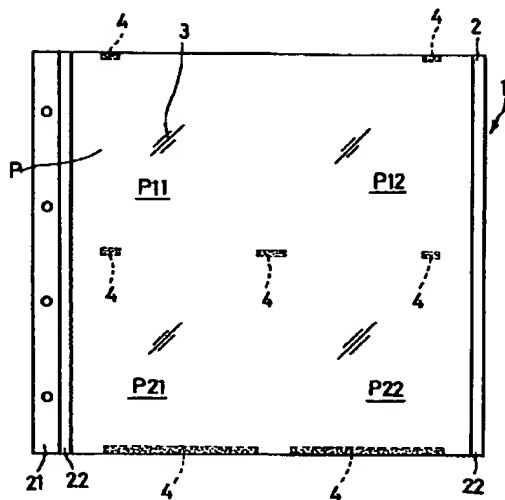
【図2】



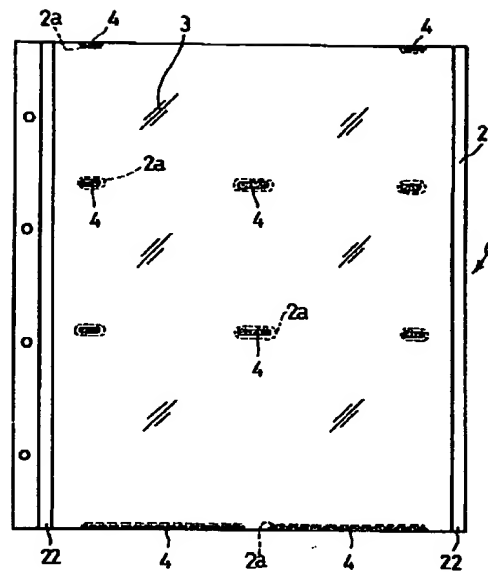
【図3】



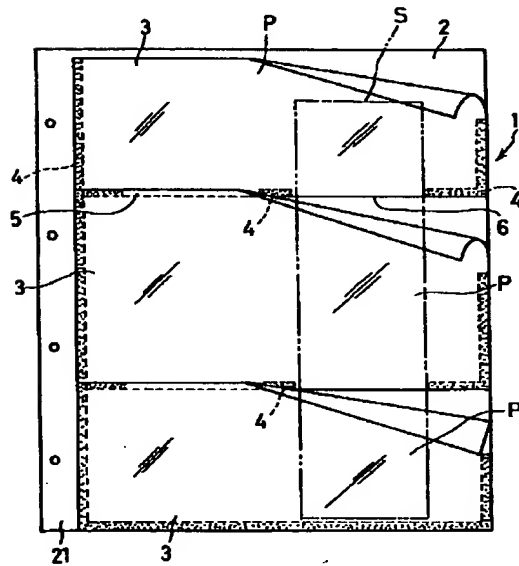
【図4】



【図5】



【図6】



【手続補正書】

【提出日】平成5年3月1日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項1】 台版に透明シートが貼着され写真印画紙保持用のポケット部が形成されたアルバム用台紙において、上記透明シートは分割されことなく上記台版に設けられ、台版と透明シートとは縦方向に互いに対応しか

つ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の縦方向および横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されていることを特徴とするアルバム用台紙。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1に係るアルバム用台紙は、台版に透明シートが貼着され写真印画紙保持用のポケット部が形成されたアルバム用台紙において、上記透明シートは分割されることなく上記台版に設けられ、台版と透明シートとは縦方向に互に対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の縦方向および横方

向の距離は所定のサイズの写真印画紙が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されていることを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正内容】

【0016】また、写真印画紙の収納時に台版と透明シートとは縦方向に互に対応しかつ横方向に破線状に設けられた複数行の貼着部において互いに貼着され、この貼着部間の横方向の距離は所定のサイズの写真印画紙が通過する長さに設定され、縦方向および横方向の貼着部間にポケット部が形成されているため、通常の商業ベースで取り扱われている各種サイズの印画紙を収納することができ、特にパノラマ判の印画紙については、縦横いずれの方向にも収納が可能である。